統一自治体選挙
特集号・号外

自治労茨城

水戸市桜川 2-3-30　自治労茨城県本部
Ｅメールアドレス kenhonbu@j-ibaraki.jp
編集発行人 ＝ 千　歳　益　彦
毎　月　5　の　日　発　行
定　　価 ＝ １部５円(組合費に含む)
印　刷　所 ＝ コトブキ印刷株式会社

－公共サービスの充実で、安心な地域社会の実現をはかろう－

この４年にわたり、新型コロナウイルス感染症により将来不安や格差拡大が強まる中で、労働環境も厳しさを増しています。コロナ感染症やマイナンバーカード発行など、医療・福祉・清掃・窓口をはじめとする公共サービス職場において、業務負担増の中での対応と努力に、改めて、すべての組合員の皆さまに敬意を表します。

昨年２月からのロシアによるウクライナ軍事侵攻が未だ継続しており、平和的な外交努力による即時の停戦と解決が求められています。これを機に、日本政府は、防衛費増額や「反撃能力」など、安全保障政策と「国防論議」を巻き込み、軍備拡大への道を突き進んでいます。日本国憲法やこれまでの「専守防衛」を逸脱する中、平和を守る取り組みも重要となっています。

今通常国会では、防衛費増額のほか、十分な議論がされないまま打ち出された原子力政策の転換、具体的な内容の見えない異次元の少子化対策、そして何よりも物価高対策などの重要課題とともに、会計年度任用職員への勤勉手当を支給可能とする地方自治法改正案も提出されています。

私たちの職場・生活と政治が無関係ではありませんし、合わせて、全単組で賃金や休暇・権利、人員の確保などの改善要求を提出し、交渉・協議していただく、このことを追求していきたいと考えております。

私たちに直面する様々な課題に対して、職場組合員の要求に基づき、ていねいに取り組み、着実に実践する中から組織の強化・拡大をはかっていかなければなりません。

今回の４月統一自治体選挙においては、３人の組織内議員と推薦議員・首長の必勝を勝ち取り、私たち公共サービス職場の勤務条件の確保と、公共サービスの充実により、安心な地域社会の実現をはかっていかなければなりません。組合員の皆さまのご理解と力強いご支援をお願い申し上げます。

県本部執行委員長　千歳　益彦

４月統一自治体選挙・組織内議員

はぎや慎一
水戸市議会議員（立憲民主党・現）

1962年生まれ。茨城大学卒、同大学院修了。水戸市役所入職。2019年水戸市議会議員に初当選。

菅谷つよし
鹿嶋市議会議員（立憲民主党・現）

1958年生まれ。岩手大学卒業後、旧鹿島町役場入職。鹿嶋市職員組合執行委員長、県本部書記長、副委員長歴任。2015年鹿嶋市議会議員に初当選。現在２期目。

岡野孝男
石岡市議会議員（立憲民主党・現）

1948年生まれ。石岡一高卒業後、旧八郷町役場入職。2003年八郷町議会議員初当選、2007年石岡市議会議員。現在４期目。

統一自治体・首長選挙〔４月23日執行予定〕

【県本部推薦議員】土浦市議会議員　奥谷（おくや）　崇（たかし）
筑西市議会議員　三澤（みさわ）　隆一（りゅういち）
牛久市議会議員　黒木（くろき）　宣子（のぶこ）
美浦村議会議員　山崎（やまざき）　幸子（さちこ）
【県本部推薦首長】日立市長　小川（おがわ）　春樹（はるき）
【連合茨城推薦首長】水戸市長　高橋（たかはし）　靖（やすし）

－地方から政治を変える大切な選挙です。お誘い合わせて必ず投票に行きましょう。－

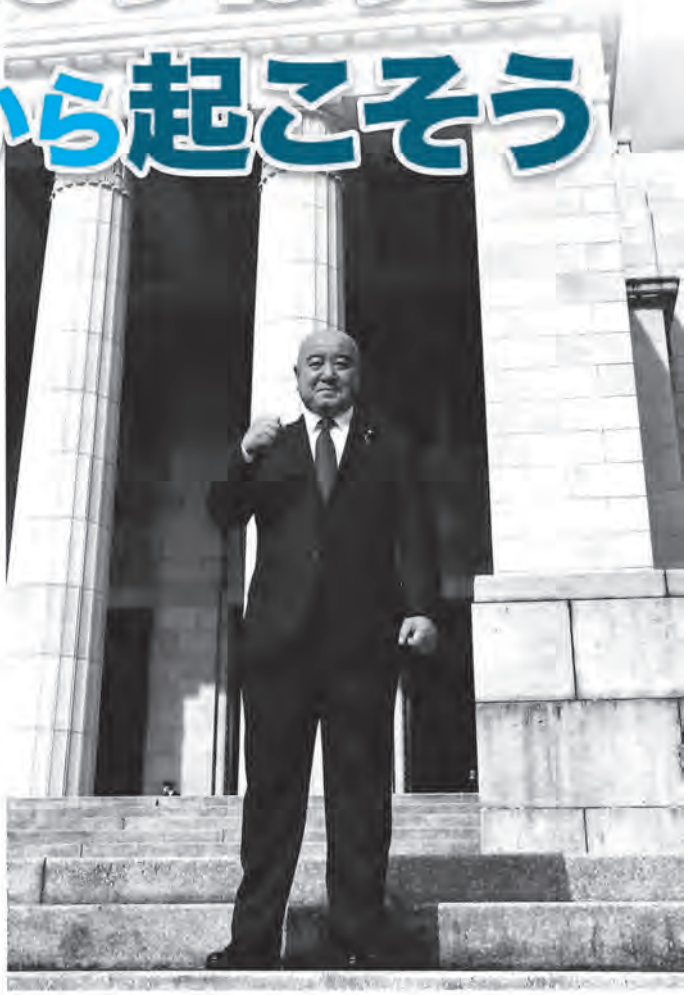
視覚障害その他の理由で活字のままでこの本を利用できない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の製作をすることを認めます。その際は著作権者、または、出版社まで御連絡ください。

参議院議員
【国会REPORT】No.1

鬼木まこと便り

立憲民主
RIKKEN MINSHU
ONIKI MAKOTO KOKKAI REPORT

政治を変えるうねりを地域・職場から起こそう



こんにちは、参議院議員の鬼木まことです。

日頃から温かいご支援をいただいていることに、心から感謝申し上げます。

昨夏の参議院議員選挙において、17万1619票を獲得でき、初当選を果たすことができました。候補者となってからずっとコロナ禍の中であり、候補者としての活動、選挙戦はともに初めて経験することでした。なかなか全国の仲間の皆さんと直接お会いすることが叶いませんでしたが、それでも皆さまにお支えいただいたことに心から御礼申し上げます。

国会議員となって半年が過ぎ、臨時国会も経験しました。国会は外で見るのと内では全く違うということを実感しました。閣僚は野党の質問に真っ当に答えようとせず、国会軽視が罷り通っています。さらに国会を閉じた後に、憲法９条の解釈を逸脱し専守防衛に反する敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有と軍事力強化のための防衛費倍増を書き込んだ「安保関連３文書」を閣議決定しました。平和憲法の下で積み上げてきたわが国の防衛政策を大転換することであるのに、国会での議論のないままで政府与党のみで決定したことは国会軽視＝国民軽視であり、強い憤りを感じます。国民の声を聞かない専横的な自民党政治を続けさせることはできません。

このような政治状況の原因は与野党の勢力差です。彼我の力関係により、国会に緊張感が失われてしまっています。国会、政治の現状を変えるには選挙で勝ち、勢力図を変えるしかありません。

そのためにも、４月の統一自治体選挙は極めて重要なたたかいとなります。地域から政治を変えるうねりを起こす。それぞれの場所から、自治労に結集する全ての仲間の皆さんにご結集いただくことを心よりお願いします。そして次の国政選挙での勝利につなげていきましょう。

全国の仲間の皆さんの声を集め、力を集めれば、状況は必ず変えられます。私も自治労また働くものの代表の一人として、公共サービスや地域、暮らしと雇用を守り、平和と人権を確立するため、皆さんの声を代弁してまいります。

2023年２月

参議院議員 鬼木 まこと